

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査 調査結果の概要について



吹田市立高野台中学校

はじめに

平素は本校教育活動にご理解、ご協力を賜り有り難うございます。

さて、本年度4月18日に3年生を対象とした「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に、個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査についての成果および課題・問題点を今後、吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は、中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、数学、英語(話すこと調査も含む)に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取組を進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図って参ります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にして頂きますようお願い致します。

令和5年(2023年)11月30日

## 1 教科に関する調査結果の分析

### 国語

#### (1) 概要

学習指導要領の領域すべてにおいて、全国値を上回る結果となりました。なかでも「書くこと」については、全国値よりも 7.8 ポイント上回りました。

#### (2) 学習指導要領の各領域等における結果

##### 【言葉の特徴や使い方】

- ・事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる。(全国値をやや上回る)
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。(全国値を上回る)

##### 【情報の扱い方】

- ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。(全国値を上回る)

##### 【我が国の言語文化】

- ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。(全国値をやや上回る)
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。(全国値を下回る)
- ・古典の原文と現代語の文章を対応させて内容を捉えることかどうかをみる。(全国値を上回る)

##### 【話すこと・聞くこと】

- ・目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる。(全国値をやや下回る)
- ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。(全国値をやや下回る)

##### 【書くこと】

- ・読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。(全国値をやや上回る)

##### 【読むこと】

- ・観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。(全国値をやや上回る)

#### (3) 今後の改善点について

##### 【我が国の言語文化】

行書の特徴を、伝統的な文字文化とも関連させながら理解し、それぞれがどのような書き方なのかを具体的に捉えて、日常生活の場面と結び付けて、実際に書くことができるように指導していきます。

##### 【話すこと・聞くこと】

話す際の工夫が様々あることを知り、自分の考えを分かりやすく伝えるには、どのような工夫が効果的なのかを理解するとともに、聞き手の立場に立って考えることができるように指導していきます。

##### 【書くこと】

本や資料から文章や図表などを引用する必要がある言語活動の中で、引用の際には引用箇所をかぎかっこ(「」)でくくることが、出典を明示すること、引用部分を適切な量とすることなどについて確認するとともに、引用する目的や効果について考えるように指導することが大切で、それらを踏まえて、意見文などを書く際に、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用することなどができるように指導していきます。

##### 【読むこと】

言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、第1学年では場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを、第2学年では登場人物の設定の仕方などを、第3学年では物語の展開の仕方などを捉えて、内容を理解することができるように、系統的に指導していきます。また、継続的な読書指導によって、書物への親しむ環境を作ります。

### 数学

#### (1) 概要

学習指導要領の領域すべてにおいて、全国値を上回る結果となりました。なかでも「関数」については、全国値よりも 11.1 ポイント上回りました。

#### (2) 学習指導要領の各領域等における結果

##### 【数と式】

- ・自然数の意味を理解しているかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・数と数式の情報の計算ができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。(全国値をやや上回る)
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる

うかを見る。(全国値を上回る)

【図形】

- ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、照明を振り返って読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)

【関数】

- ・反比例の意味を理解しているかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかを見る。(全国値を上回る)

【データの活用】

- ・累積度数の意味を理解しているかどうかを見る。(全国値を下回る)
- ・四分位範囲の意味を理解しているかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る。(全国値を下回る)

(3) 今後の改善点について

【数と式】

結論が成り立つための前提を考え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにするために、すでに成り立つことが示された事柄を基に、前提を変えても成り立つ場合を考え、話し合う活動を取り入れることが考えられます。その際、成り立つ事柄を予想するために、具体例をあげて調べる活動と調べたことを自分の意見と合わせて説明する活動を充実させていきます。

【図形】

結論を導くために何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだし、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れることで、数学的に説明できるよう指導していきます。

【関数】

様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、表、式、グラフなどの「用いるもの」と、それらを問題解決するためにどう用いたかといった「用い方」を明確にして問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させていきます。

【データの活用】

複数の集団のデータの分布を比較・検討する場面を設定し、箱ひげ図にデータを整理することで分布の傾向を考察し、とらえる活動を充実させていきます。その際、データ活用に必要な用語と用語の意味をしっかりと確認して数学的な表現ができるように指導していきます。

## 英語

(1) 概要

学習指導要領の領域「聞くこと」「読むこと」「書くこと」については全国値を大きく上回る結果となりました。

(2) 学習指導要領の各領域等における結果

【聞くこと】

- ・情報を正確に聞き取ることができるかどうかを見る。(全国値をやや上回る)
- ・日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)

【読むこと】

- ・情報を正確に読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかを見る。(全国値を上回る)

【書くこと】

- ・社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・未来表現(be going to)の肯定文を正確に書くことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・疑問詞を用いた一般動詞の二人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)
- ・日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかを見る。(全国値を上回る)

(3) 今後の改善点について

【聞くこと】

全国平均を大きく上回ることができたことは非常に優れた結果ではありますが、引き続き高いレベルを維持するための取り組み

は必要です。これらのスキルをさらに伸ばすためには、より複雑なトピックや語彙に触れる機会を増やし、例えば、テレビで英語のニュースをすすんでみるようにしたり、英語の音楽や映画にふれる時間を増やして、日常生活の一部にとりいれることも必要となってきます。授業では、音楽やリスニング問題に取り組んでいますが、時間をもう少し増やし、英語の音声に触れる時間を増やすことも必要だと考えます。

#### 【読むこと】

文法を理解することは必須条件になってきますが、そこからのレベル上昇をめざすのであれば、ニュース記事や文学作品を英語で読むことで、語彙を増やすことができるとともに、読解力がついて、それにともない実力もついてくると考えられます。教科書の英文が基本となりますが、まず長文に慣れることから始めていくことが大切です。

#### 【書くこと】

必要な語彙を増やすことが必要です。そして、文法を熟知して、作文練習をしてみることも必要です。思ったことを英語で表現したらどうなるだろうかと日々自問自答してみるのも書くことのレベルアップのきっかけになると考えます。定期的なリーディング、英文を読むことは文章構造や表現方法を学ぶのに非常に有効です。よい読み手であることが書くことのレベル上昇の必須条件になるであろうと考えます。

### 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

～質問紙調査結果からの分析～ 数字は、各質問に対する肯定的な回答の割合

#### 【自分自身のこと】

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| ・自分には、よいところがあると思いますか   | 全国値とほぼ同じ。 |
| ・将来の夢や目標を持っていますか       | 全国値を上回る。  |
| ・人が困っているときは、進んで助けていますか | 全国値を上回る。  |
| ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか   | 全国値を下回る。  |

○教育活動全体において個々の子供理解に努め、子供同士が関わり、協力し合う取組を増やし、それぞれの良さが発揮できる場面を意識的に作り、自己有用感や自己肯定感を育てていきます。

○最後までやり遂げる経験を積み重ねることを通して達成感が生まれてくることから、特別活動や総合的な学習の時間等における体験活動や教科指導等を通じて、やり遂げる経験を積み重ねることのできる取組を実施していきます。

○キャリア教育の小中一貫カリキュラムを活用し、系統的、継続的な取組を推進することで、将来に対する目的意識や展望を育てていきます。

#### 【家庭生活・家庭学習】

- |  |            |
|--|------------|
| ・朝食を毎日食べていますか  | 全国値をやや上回る。 |
| ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか  | 全国値を上回る。   |
| ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか   | 全国値を上回る。   |
| ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)  | 全国値をやや上回る。 |
| ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上する) | 全国値を上回る。   |
| ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上する)       | 全国値を上回る。   |
| ・新聞を読んでいますか  | 全国値を下回る。   |

○睡眠時間の確保や、ゆとりのある生活習慣を身に着けるためにも、規則正しい生活のリズムが大切です。

○テレビゲームや携帯電話・スマートフォン等が学習の妨げにならないよう使用時間や情報モラル等を踏まえた使い方について、家庭で決まり事を作り、守るよう指導をお願いします。さらに、メールやライン等による誹謗中傷のいじめ事案が課題となり、その使用についてのルールやマナーを守らせるための指導を、今以上にを行うことが必要であると考えます。

○家庭学習についても、家庭生活の時間の使い方を話し合う中で、最終的には子供自身が取り組み方法について主体的に考え、決めることが必要です。家庭学習が定着できている生徒と、できていない生徒の二極化がみられます。生徒が自ら課題を見つけ、取り組む習慣を身に付けることが必要であると考えます。

#### 【学校生活・授業・規範意識】

- |   |            |
|---|------------|
| ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか                               | 全国値をやや下回る。 |
| ・学校に行くのは楽しいと思いますか   | 全国値を上回る。   |
| ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか            | 全国値をやや上回る。 |
| ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか       | 全国値を上回る。   |
| ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか | 全国値を上回る。   |
| ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか            | 全国値を上回る。   |

○いじめ等への未然防止の取組として、道徳教育や人権教育等、教育活動全般を通じて豊かな心を育てる取組を推進していきます。

○総合的な学習の時間では、施行錯誤しながら新しい未知の課題に粘り強く対処し、解決しようとする姿勢を育てるために、身近な社会の人々、自然に直接関わる学習活動に取り組めます。

○特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事)では、生徒の自治的な能力や自主的な態度を育てるとともに、学力向上の基盤に必要な人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する要望的な役割を果たすため、学校やクラスの実態に合わせた取組を実施していきます。

○授業で取組んでいるペア学習やグループ学習、また班での話し合い活動や教え合い活動が充実してきたことで、生徒に自分の考えを伝達する力が育ってきています。生徒が一面的な考え方にとどまらず多様な考え方に触れ、さらに考えを深めていけるよう、授業方法をより一層工夫し、「主体的・対話的で深い学び」となるよう努めるとともに、生徒が意欲を高める授業づくりをさらに進め、「学びに向かう力」を一層育んでいけるよう取り組みます。

おわりに

今回の調査をもとに、子供たちの学力を把握し、確かな学力を育むために、放課後学習等の個別指導、ICTを活用したわかる授業づくりや少人数授業など、個に応じた取組の充実を図って参りたいと考えています。また、自ら学習に向かう姿勢等、学習意欲についての課題改善に向け、学校においては、授業規律・生活規律を確立した上で、学ぶ意欲を喚起する授業づくりやわかる授業の創造、小学校との連携のもと系統的な小中一貫教育の推進など、引き続き多様な指導法の工夫改善に取り組むとともに、ご家庭においても、基本的な生活習慣を確立し、さまざまな生活体験や日常的な会話を通じて、自主的に学習に向かう姿勢を身に付けさせる必要があります。さらに、学習内容の定着には、学校での反復学習のみならず、家庭学習の担うところが大きく、学校と家庭が連携し、自学自習力をつける取組を進めるために、今後もご協力いただきますようお願い致します。